

発行 北東アジア学会事務局

京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学経済学部サービスラーニングセンター内 〒612-8577

電話 075-645-2090 / FAX 075-645-2101 / 電子メール jsrs@mirec.org / URL <http://www.mirec.org/jsrs/>

今号のヘッドライン

[1 面] 第 14 回学術研究大会について【第 2 報】

[5 面] 会員情報

[4 面] 第 6 期役員選挙について

[6 面] 事務局からのお知らせ

[4 面] 総会・理事会・常任理事会議事

第 5 期第 8 回常任理事会報告

第 5 期第 7 回理事会報告

第 14 回学術研究大会について【第 2 報】

北東アジア学会第 14 回学術研究大会へのお誘い

北東アジア学会第 14 回学術研究大会は、本年 9 月 27-28 日に山形大学小白川キャンパスで開催されます。大会テーマは「地域主義と地域協力の可能性 近代国家体系への挑戦」です。

この研究大会では、基調講演としてチェコ科学アカデミー社会学研究所のハウジヴィチカ氏を招聘し、第二次世界大戦以来の歴史問題に「和解宣言」という形で決着をみたチェコとドイツとの関係についての講演を予定しています。ハウジヴィチカ氏は、長年にわたりユーロリージョンの住民の意識調査も行っており、北東アジアにおける地域協力を考える際に、参考になるかと思われます。

第 14 回学術研究大会実行委員会 高橋和(山形大学)

また、今回は大会企画分科会という新しい企画を設けました。本学会では、若い研究者に発表の機会を提供するという目的を掲げており、これまでも分科会には多くの若手研究者の参加を得てきました。今回はそれをさらに発展させて、個々の研究報告のみならず研究テーマごとに議論の時間を取ることになりました。若い研究者の研究の進展に寄与できればと思っています。

山形の美味しいお酒と蕎麦で歓迎したいと思います。お忙しい時期ではありますが、ぜひご参加いただき、研究を深め、交流を深める機会として利用してください。

プログラムの概要

9月27日(土)

時間	プログラム	ところ
12:30-13:30	レジストレーション	
13:30-15:00	基調講演「チェコ人とドイツ人 地域協力の拡大は相互理解にどのように寄与したか」 講師 ヴァーツラフ・ハウジヴィチカ(Vaclav Houzuvicka) (チェコ科学アカデミー・社会学研究所主任研究員)	S401号教室
15:30-18:00	国際シンポジウム「地域主義と地域協力 近代国家体系への挑戦」 パネリスト 坂田幹男(福井県立大学経済学部教授) 高橋正樹(新潟国際情報大学情報文化学部教授) 竹村卓(富山大学人文学部教授) 堀内賢志(早稲田大学社会科学部助教) コーディネータ 多賀秀敏(早稲田大学社会科学学術院教授)	S401号教室
18:30-20:00	懇親会(会費制)	山形グランドホテル

9月28日(日)

時間	プログラム	ところ
9:30-11:45	分科会 自由論題分科会Ⅰ(経済) 自由論題分科会Ⅱ(環境) 大会企画分科会Ⅰ(国際行為体とサブリージョンの形成) 大会企画分科会Ⅱ(二つの「戦後」と北東アジア地域秩序)	人文各教室
12:00-13:30	2009年度会員総会・昼食	人文205教室
13:30-16:00	分科会 自由論題分科会Ⅲ(地域政策) 自由論題分科会Ⅳ(地域協力) 大会企画分科会Ⅲ(北東アジアのナショナリズムと空間創造) 大会企画分科会Ⅳ(北東アジア地域空間と認識の変容)	人文各教室

分科会の報告論題

自由論題Ⅰ:経済

とき:9月28日(日)9:30-11:45 / ところ:人文学部棟201号教室 / 座長:*** (***)

時間	報告者	報告題目
	LEE, HongBee (韓国東北亜経済学会招待)	韓日部品素材産業における貿易不均衡の原因分析
	穆堯芋 (環日本海経済研究所)	中国国内における貿易構造の変遷について
	KIM, ChangNam (韓国東北亜経済学会招待)	The Strategic Importance of Korea-Japan FTA: From Korean Perspective

自由論題Ⅱ:環境

とき:9月28日(日)9:30-11:45 / ところ:人文学部棟202号教室 / 座長:*** (***)

時間	報告者	報告題目
	金丹 (富山大学)	瀋陽市の環境負荷構造の変化
	龍世祥 (富山大学)	国際的生態補償原理について
	箱木 眞澄 (広島経済大学)	北東アジア地域における貿易と環境問題

大会企画Ⅰ:国際行為体とサブリージョンの形成

とき:9月28日(日)9:30-11:45 / ところ:人文学部棟203号教室 / 座長:

時間	報告者	報告題目
	中山賢治 (衆議院調査局 / 早稲田大学・院)	北東アジア地域自治体連合(NEAR)における争点志向型協力関係
	峯田史郎 (早稲田大学・院)	北東アジアにおける市民非核ネットワーク
	平田准也 (早稲田大学・院)	北東アジアの国家間秩序の展開

大会企画Ⅱ:二つの「戦後」と北東アジア地域秩序

とき:9月28日(日)9:30-11:45 / ところ:人文学部棟204号教室 / 座長:

時間	報告者	報告題目
	松村史紀 (桜美林大学)	北東アジア地域と二つの「戦後」
	張剣波 (東京女子大学)	米中和解と北東アジア秩序
	楊志輝 (恵泉女学園大学)	日中間の戦後処理と東アジア戦後秩序の形成

自由論題Ⅲ: 地域政策

とき: 9月28日(日) 13:30-16:00 / ところ: 人文学部棟201号教室 / 座長: *** (***)

時間	報告者	報告題目
	山田 一隆 (龍谷大学)	「大学のない街」における産学官連携の可能性 京都府舞鶴市の事例を通して
	松本 邦彦 (山形大学)	東北の地方政府と国際化の現段階: 山形を中心に
	五十嵐 誠一 (日本学術振興会特別研究員)	東北アジアの紛争予防と市民社会 - GPPACによる下からの地域安全保障共同体の模索

自由論題Ⅳ: 地域協力

とき: 9月28日(日) 13:30-16:00 / ところ: 人文学部棟202号教室 / 座長: 百瀬宏()

時間	報告者	報告題目
	大西 広 (京都大学)	独島 = 竹島の現状と地図論争について
	朱 永浩 (環日本海経済研究所)	中国東北振興政策の進展と北東アジア地域協力
	KANG, JungMo (韓国東北亜経済学会招待)	The East Asian Model of Economic Development
	原 拓也 (山形大学・院)	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)の構築と問題点 東アジアにおける環境レジーム形成の事例として

大会企画Ⅲ: 北東アジアのナショナリズムと空間創造

とき: 9月28日(日) 13:30-16:00 / ところ: 人文学部棟203号教室 / 座長:

時間	報告者	報告題目
	中村香代子 (早稲田大学・院)	神社参拝とナショナリズム
	山内 明美 (一橋大学・院)	近代日本の稲作とナショナリズム
	曹明玉 (早稲田大学・院)	檀君ナショナリズムと大?教

大会企画Ⅳ: 二つの「戦後」と北東アジア地域秩序

とき: 9月28日(日) 13:30-16:00 / ところ: 人文学部棟204号教室 / 座長:

時間	報告者	報告題目
	小松寛 (早稲田大学・院)	「日本・沖縄」という空間 「反復帰」論における日本知識人の影響
	高賢来 (東京大学・院)	1950年代後半の北東アジアと米軍再編
	楊子震 ()	

- 詳細については、決まり次第、ご案内申し上げます。

< 連絡先 >

北東アジア学会第14回学術研究大会実行委員会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部 担当 高橋和

電話 023-628-4283 ファックス

E-mail nears_14@human.kj.yamagata-u.ac.jp (大会代表メールアドレス)

第6期役員選挙について

選挙管理委員会の結果について

第6期役員選挙管理委員長 雨宮洋司(前・富山大学)

選挙公示

第6期役員選挙管理委員会 委員長 雨宮洋司(前・富山大学)

「北東アジア学会役員選出規定」および「北東アジア学会理事選挙実施細則」に基づき、第6期役員選挙を行う。

投票選挙結果

1. 上記選挙公示に基づき、2008年5月31日締切とする郵送投票を行った。
2. 投票数 35、有効投票数 32であった。

総会・理事会・常任理事会議事

第5期第8回常任理事会報告

第5期第8回常任理事会が、2008年6月29日(日)13:00から、キャンパスプラザ京都龍谷大学サテライト教室(京都市下京区)にて、常任理事、名誉会員計9名が出席して開催された。議題は以下の通り。

[1] 第6期役員選挙について

山田一隆事務局長から、第6期役員選挙の結果が報告された。23名の理事候補が当選した(18位同数が6名)ことが報告され、これに地域、専門分野、年齢、ジェンダーを勘案して、あと20名程度の理事候補を指名する必要があると指摘された。

同指摘にしたがって、24名の理事候補名簿を常任理事会提案として作成した。

[2] その他

(1) 次の予定

- 同日後刻第5期第7回理事会
- 第5期第8回理事会

第5期第7回理事会報告

第5期第7回理事会が、2008年6月29日(日)14:00から、キャンパスプラザ京都龍谷大学サテライト教室(京都市下京区)にて、常任理事、名誉会員計13名が出席して開催された。議題は以下の通り。

[1] 事務局消息

山田一隆事務局長から、2007年5月から当日までの事務局の主な業務内容が報告された。

[2] 学会誌編集委員会から

今村弘子学会誌編集委員長から、『北東アジア地域研究』第14号の編集に関する進捗状況について報告があった。査

とき 2008年9月26日(金)16:00-

ところ 山形大学小白川キャンパス

議題 第6期理事について

第14回学術研究大会について

第15回学術研究大会開催校について

2008年度事業報告・決算・会計監査について

その他

第6期第1回理事会(慣例に従い)

とき 2008年9月27日(土)10:00-

ところ 山形大学小白川キャンパス

議題 第6期役員について

第14回学術研究大会について

第15回学術研究大会開催校について

2009年度事業計画・予算について

その他

読の結果8本の論文、4本の研究ノートが掲載されることが紹介された。また、故本多健吉名誉会員の追悼論文が掲載されることとのものであった。

[3] 北東アジア学会優秀論文賞について

山田一隆事務局長から、今年度北東アジア学会優秀論文賞についての対応が報告された。

[4] 第6期役員選挙について

山田一隆事務局長から、第6期役員選挙の結果が報告された。23名の理事候補が当選した(18位同数が6名)ことが報告され、これに加えて、地域、専門分野、年齢、ジェンダー

を勘案して、47名の理事候補名簿を常任理事会提案として提案し、了承された。

[5] 第14回学術研究大会について

高橋和担当理事から、第14回学術研究大会の準備状況について報告があった【詳細は本紙1ページ】。

[6] 第15回学術研究大会開催候補地について

山田一隆事務局長から、2008年度会員総会において、新潟地域を候補とすることが決定されたが、その後の対応について報告があった。

若月章常任理事から、新潟県立大学(2009年4月開学)と環日本海経済研究所の共同開催の方向を検討している旨、報告があり、開催期日は、2009年9月26-27日を予定していることが報告された。

[8] その他

(1) 入会申請の承認, 会員の退会に関する報告

山田一隆事務局長から、入会申込を受けた者11名、退会申請を受けた者5名について報告があり、入会申込を受けた

者の入会が了承された。

(2) 次回の予定

第5期第8回理事会

とき 2008年9月26日(金)16:00-

ところ 山形大学小白川キャンパス

議題 第6期理事について

第14回学術研究大会について

第15回学術研究大会開催校について

2008年度事業報告・決算・会計監査について

その他

第6期第1回理事会(慣例に従い)

とき 2008年9月27日(土)10:00-

ところ 山形大学小白川キャンパス

議題 第6期役員について

第14回学術研究大会について

第15回学術研究大会開催校について

2009年度事業計画・予算について

その他

会員情報

新入会員 11名

一般	蓮池 薫	新潟産業大学	推薦人:金光林、詹秀娟
一般	金 丹	富山大学極東地域研究センター	推薦人:今村弘子、堀江典生
一般	松本 邦彦	山形大学人文学部	推薦人:高橋和、和泉田保一
一般	張 剣波	東京女子大学	推薦人:森岡裕二、峯田史郎
一般	松村 史紀	桜美林大学経済学部	推薦人:森岡裕二、峯田史郎
一般	楊 志輝	恵泉女学園大学	推薦人:森岡裕二、峯田史郎
一般	吉川 健治	東洋英和女学院大学	推薦人:森川裕二、中村香代子
院生	原 拓也	山形大学大学院社会システム研究科	推薦人:高橋和、和泉田保一
院生	山内 明美	一橋大学大学院言語社会研究科	推薦人:中村香代子、森川裕二
院生	高 賢来	東京大学大学院総合文化研究科	推薦人:多賀秀俊、森川裕二
院生	小松 寛	早稲田大学大学院社会科学研究科	推薦人:多賀秀俊、森川裕二

2008年6月29日 第5期第7回理事会承認

退会者 5名

槻木 瑞生 本間 義治 和田 善吉 岡本 光治 千光土尚史

2008年6月29日 第5期第7回理事会報告

住所不明者 4名

学会事務局では、日常的に会員のみなさまの連絡先・所属等の変更・更新を受け付けており、その追跡にも注力しておりますが、残念ながら、現在、以下の会員の連絡先が学会事務局で把握できておりません。会員のみなさまの中で最新の連絡先をご存知でしたら、学会事務局までご連絡いただければ幸いです。

一般	武田 洋平	東海大学平和戦略国際研究所
一般	李 勁	
海外	Valentina Grishina	
院生	Lamacheva Ioulia	新潟大学大学院現代社会文化研究科

事務局からのお知らせ

会費納付・会員拡張について

[1] 会員の会費納付状況・学会則第6条について

参考：環日本海学会会則・第6条「本会を退会しようとする者は、書面をもって退会を本会に通告すれば退会することができる。会費を2年間滞納した者は、理事会において承認の上、退会とみなす。」

現行では4年滞納(一般会員の場合、31,000円以上)で、学会誌の送付を停止し、「つうしん」の発送のみとする暫定措置をとっていますが、2008年度からの会費額改訂にあわせて、学会則第6条に沿って、上記該当者の退会扱いを積極的に行うことにしています。本報同封の会費請求書をご確認の上、至急納付いただきますようお願いいたします。

[2] 会費納付のお願い

郵便振替口座 00990-3-117008
環日本海学会

2008年度年会費	一般	10,000円
	院生	5,000円
	賛助	20,000円
	特別賛助	100,000円

つうしん本号に同封の会費納付のご案内で金額(過年度未納分がある方は併せてご請求申し上げます)をお確かめの上、同封の郵便振替払込票をご利用ください。(払込手数料は会員負担)。名称変更後も口座番号、名義人に変更はありません。

[3] 会員拡張の重要性

このところ会員数は、横ばいないし漸減の傾向にあり、学会組織として、本学会を通じた学術・交流活動を促進し、発展させていく観点から、また、学会経営の財政的安定化を図る観点から、新入会員の勧誘につき、会員のみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。会員諸兄における会員拡張活動への積極的なご理解とご協力に資するため、学会紹介リーフレットを作成しております。なお、リーフレットは学会ホームページ(<http://www.mirec.org/jsrs/leaflet.pdf>)からもダウンロードできますので、ご活用いただければ幸いです。

学会の情報化について・再報

[1] 学会員メーリングリストの運用について

学会事務局では、会員のみなさまの情報交流の機動性を高めるべく、学会員の一斉同報メールシステムを構築しています。

環日本海学会メーリングリスト jsrs_all@mirec.org

登録メールアドレスは、現在「会員名簿」に登載されているメールアドレスを基本としています。現在の登録者数は195で、全会員のおよそ半数です。メールアドレスに登載いただいない会員のみなさまには、これを機会にメールアドレスの登載をご検討いただければ幸いです。ご連絡は学会事務局までお願いいたします。

[2] 「環日本海学会つうしん」の電子配信について

学会事務局に電子メールアドレスをお知らせいただいている会員のみなさまには、これまで紙媒体として郵送していましたが「環日本海学会つうしん」の配信を、第29号から環日本海学会メーリングリスト jsrs_all@mirec.org を活用した電子配信(pdf形式)に切り替えさせていただくこととしました。

電子配信への切り替えによって、事務局の印刷・郵送経費および手間の軽減もさることながら、発行後すぐに配信するため、紙媒体を郵送するよりも迅速にお手元に届けることができますようになります。

電子メールアドレスをご登録の会員の方で、従前同様、紙媒体の郵送をご希望される方は学会事務局までご連絡ください。

「つうしん」第33号の発行遅延について

掲載内容の調整のため、「つうしん」本号の発行が大幅に遅れました。お詫び申し上げます。